

市議会通信

6月議会：6月8日～7月3日 No.79

発行：日本共産党秋田市議会議員団

秋田市山王一丁目1-1 電話 888-5413 Fax 866-0998



【さとう純子議員】

【なら順子議員】

くらしのご相談は
日本共産党市議会へ



市議会HP



本会議録画

6月議会は、条例案をはじめ、補正予算案、陳情などについて審査を行いました。さとう純子議員が一般質問を、なら順子議員が討論しました。



物価高騰対策は全市民を対象に！ 切れ目のない子育て支援を！

～さとう純子議員が一般質問～

さとう純子議員は、物価高騰から市民生活を守るための対策と子育て支援について質問しました。また、千秋公園の適切な維持管理を求め、お堀に遊歩道を架ける事業は中止することを求めました。さらに、秋田民謡の継承と全国大会への助成を求めました。

市民生活と 産業への支援を

全市民を対象とした支援を！



長引くコロナ禍や物価高騰、6月からは電気料の値上げなど、生活への不安が大きくなっています。市民からは、「いったい、どうやって暮らしたらよいか」「今でも辛抱しているのにこの先どうなるのか。年金だけでは生活ができない」と途方に暮れている声が多く聞かれています。これまで秋田市が行ってきたプレミアム商品券やあきたづくしの割引事業等には「お金があっても、買うことができない人」にしか恩恵がないなどと言われています。

Q 全市民を対象とした支援を実施すべきではないか
A 全市民を対象とした支援は予定していない。価格の推移や国・県の動向を注視し、必要な支援に努める



農業・畜産業への支援を！

昨年は種苗費への補助制度がありましたが、資材価格の高騰で農家は経営難に陥っています。また、政府が奨励してきた生乳の増産は、コロナ禍とウクライナ侵攻により、需要の激減と飼料価格の高騰で酪農家は苦境に陥っています。政府の対応は、乳牛を殺処分した場合に補助金を支給するというもので、「牛を生かすた

めにこそ補助金を出して欲しい」と悲痛な声が寄せられました。

Q 農業者・畜産事業者へ飼料費や資材費等を助成する考えはないか
A 関係機関と連携し、経営サポートや肥料低減のための堆肥活用の促進などに取り組む。JAを通じ、農業者等の実態や要望の把握に努め、今後も適切な支援について検討していく

Q 農業関係と連携し、経営サポートや肥料低減のための堆肥活用の促進などに取り組む。JAを通じ、農業者等の実態や要望の把握に努め、今後も適切な支援について検討していく

これでいいのか？ 子育て支援

市が行っている子育てに関する調査結果では、「子育てで出費がかさむ」「医療費の負担、保育所や幼稚園等に係る費用負担」軽減が7割近くになっています。子育ての充実を求める声は切実です。

Q 国民健康保険加入世帯の高校生世代までの均等割を無料にすべきではないか
A 市独自の無料化は考えていない。全国市長会を通して国に要望していく

Q 高校生世代までの医療費を完全無料化すべきではないか
A 多額の財源が必要で現時点では考えていない

Q 学校給食費の無償化は、男鹿市が7月から実施します。県内では、男鹿市、五城目町、井川町、八郎潟町、大潟村、東成瀬村、上小阿仁村で実施し、三種町、八峰町、小坂町が一部無償化を実施しています。

Q 学校給食費を無償化すべきではないか
A 年間12億円と多額で実施は困難。保育料の完全無償化と学童保育の保育料への支援も必要です。子ども

が増えるとともにさらに重い負担となっています。切れ目のない支援をすすめるべきです。

Q 教育・保育施設等と放課後児童クラブの保育料を無料化すべきではないか
A 保育料は全ての世帯を無料にするのは難しい。学童保育の保育料はクラブのサービス内容に応じたもの。無料化は考えていない



また、国民健康保険に加入している子どもは、生まれると同時に均等割が課税されます。

Q 国民健康保険加入世帯の高校生世代までの均等割を無料にすべきではないか
A 市独自の無料化は考えていない。全国市長会を通して国に要望していく

相互理解と国際親善を 通じて世界平和を

友好・姉妹都市交流及び平和活動の促進についてと題して、世界情勢にかんがみ市が行っている国際交流の役割をどう考えているのか。国に対し、平和外交促進を言明すべきではないか質問しました。

市長は、「国には引き続き、話し合いによる平和的外交を基本姿勢としていただきたい」と答弁しました。



お堀の遊歩道は中止し 千秋公園全体の魅力向上を!

千秋公園の来園者は、13年間で48万人から27万人と激減しています。市民からは「4億円もかけて遊歩道をつくるのか」「千秋公園全体の魅力を高めることに力を注ぐべき」という声があがっています。

歴史ある公園の魅力を観光に活かし、市民の多様な活用と様々な形で集える企画に取り組みよう、公園の維持管理、運営を行う新たな組織を設置する必要があると質問しました。

主な質問と答弁

Q 駐車場の増設、桜の老木の更新などを求める声は上位を占めている。ハスの観賞用の棧橋を求める声はわずか。なぜか。

便器が壊れている多目的トイレ、引き戸が開きにくいトイレがありました。



千秋公園を視察する、さとう純子議員となら順子議員。国学院高校側の土手沿いに設置する予定であった棧橋がお堀の中央を横断する形に変更されたことに、市民からは「景観を損ねる」との声が寄せられています。

A ぜ大手門の堀遊歩道を優先して進めるのか。中止すべき。

A 新たなハスを鑑賞できる場を設けることで親水空間を囲心市街地のさらなる活性化に寄与する。

Q 桜の更新目標を年間30本としていたが、目標を達成できなかったのはなぜか。

A 桜のためのスペースや日照を確保するため周辺樹木の伐採を優先している。限られた財源の中、目標達成は困難。

工事請負契約案に反対討論

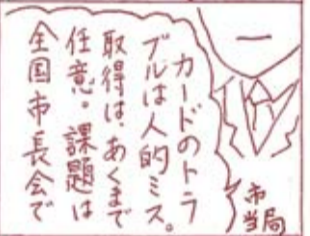
―なら順子議員―



千秋公園は、全国有数の環境をもっており、市民にとっては憩いの場です。秋田市の顔とも言える千秋公園のお堀に遊歩道を作るというのに、市民の声は広く丁寧に聞き取られていません。市当局も「この事業には賛否がある」と捉えています。再整備計画のアンケート結果でも「桜の老木の更新」「駐車場の整備」が上位を占めています。また、安全性にも心配の声が上がっています。

社会情勢も大きく変わり、物価高騰で救いを求めている市民がいる現実を見つめ、この計画は見直すべきと討論しました。

嗚呼マイナンバー



問題だらけのマイナンバー

マイナンバーカードが導入されてから7年、これまで、CMやカード交付申請のための案内送付など普及促進のために多額の税金が使われてきました。さらに2万ポイントを付与し、その結果、カードの取得率は急速に上がりましたが、いま、トラブルが多発しています。保険証とカードとの一体化に各紙社説で異論が相次ぎ、世論調査でも延期・撤回を求める人は72%に上っています。さとう純子議員は、カードと健康保険証との一体化後も現行の健康保険証を利用できるように国に求めるべきと質問しました。市長は、「国には、保険者等と十分に協議し、その意見を反映するよう、全国市長会等を通

健康保険証の廃止は見直しを!



トラブルめぐり 多くの不安の声



秋田民謡を次世代へ

秋田県は民謡の宝庫と言われてきました。聞く機会が減り、活動してきた市民も高齢化で、次世代にどう繋げていくのか。秋田の文化として位置づけ継承していく必要があります。歴史を後世に引き継ぐため、関係資料等を展示し、民謡を聞くことができる常設スペースを求めました。また、市内で開催されている全国大会への支援を行うよう質問しました。



【その他の質問】選挙について、投票者の権利を保障するため、選挙制度の改善を求めました。

秋田市役所 市民課まで
☎ 8888・5626
マイナンバーカードのご利用でお困りのことは

主な陳情・請願に対する各派の態度	結果	共産党 (2)		秋水会 (8)						自民党 (7)				フロンティア秋田 (8)				そうせい (4)		公明党 (4)		市民ク (2)															
		佐藤純子	奈良順子	小木田喜美雄	伊藤一榮	細川信二	萩原貴幸	渡辺正宏	佐藤宏悦	見上万里子	川口雅文	小野寺誠	伊藤巧一	安井正浩	熊谷重隆	工藤知彦	工藤準平	飯牟禮克年	小林一夫	倉田芳治	工藤新一	佐藤哲治	藤田隆信	藤枝隆博	後藤良純	船木純夫	菊地格夫	若松尚利	藤井翼	小松健	武田正博	石塚秀守	佐野佳守	花田清美	安井誠悦		
所得制限を設けない高校卒業までの医療費窓口負担の完全無料化の実施について	○=12 ×=22 不採択	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊かな学びの実現、教職員定数改善及び義務教育費国庫負担割合引上げに関する意見書の提出について	○=19 ×=15 採択	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
物価高騰に見合う生活保護基準の緊急な引上げを求めることに関する意見書の提出について	○=10 ×=24 不採択	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

*上記の他に「庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金の自粛について」「地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について」の陳情が審査されました。